

静岡県環境アセスメント協会 会報誌



麻機遊水地における外来種防除活動



2019年5月18日、麻機湿原を保全する会主催、静岡県土木事務所、静岡市役所共催による麻機遊水地クリーン作戦に参加しました。静岡県環境アセスメント協会からは16名が参加し、当協会の専門性を生かして、特定外来生物の防除活動を行いました。

特定外来生物の防除活動

麻機遊水池第3工区での外来種駆除活動(特定外来生物オオキンケイギク等)も、2014年開始から6年目を迎えました。静岡県環境アセスメント協会が駆除担当するエリアでは、近年ではオオキンケイギクの個体数が減りつつあります。



特定外来生物オオキンケイギク



外来種防除活動 2019年5月



2019年12月4日、静岡県環境アセスメント協会および静岡県環境保全協会、静岡県との共同開催により環境保全セミナーを開催しました。セミナーには、建設コンサルタント関連や工場等の民間企業をはじめ、県・市町の環境関連担当者が参加し、参加者数は66名でした。第13回目の開催となります。

講演1 「水・大気環境行政の現状と課題」

環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 谷貝雄三氏より、水質汚濁・海洋保全、大気汚染・悪臭・騒音、土壌・農薬・地下水に関わる環境行政について、ご講演頂きました。

講演2 「浜松市沿岸防潮堤整備事業における環境への取り組み」

静岡県浜松土木事務所沿岸整備課 福田達樹氏より、浜松市沿岸防潮堤整備事業における環境保全対策（重要種アカウミガメやカワラハンショウ等）と、貴重な自然を後世に引き継ぐために、地域が主体となって、その価値を守っていく活動の大切さについて、ご講演頂きました。

講演3 「静岡県の環境への取り組み」

静岡県自然保護課 小松鷹介氏より、ふじのくに生物多様性地域戦略と改訂版静岡県版レッドデータブックの特徴について、解説して頂きました。

講演4 「環境影響評価法を巡る最近の動向」

環境省 大臣官房環境影響評価課 課長補佐 森田紗世氏より、太陽光発電の対象事業への追加等を含めた、近年の環境影響評価の動向について、ご講演頂きました。

静岡県環境アセスメント協会・静岡県環境保全協会・静岡県 共同開催

環境保全セミナー

～最近の環境行政の動向～

本セミナーは、「環境行政の最新情報の把握」を目的として開催いたします。
今回は、「水・大気」「生物多様性」「環境影響評価」に係わる最近の動向について、わかりやすく説明していただきます。

日時	令和元年 12月4日(水) 14:00～16:30
場所	男女共同参画センターあざれあ (501会議室) 新静岡海浜公園第1ビル1F 〒424-8501 静岡県浜松市東区東町1-1-1 ※駐車場なし（近隣の公共施設をご利用ください）
講演	14:00～14:05 開会挨拶 14:05～14:55 ●「水・大気環境行政の現状と課題」 環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 谷貝雄三氏 15:00～15:15 ●「浜松市沿岸防潮堤整備事業における環境への取り組み」 静岡県浜松土木事務所沿岸整備課 福田達樹氏 15:15～15:30 ●「静岡県の環境への取り組み（静岡県版レッドデータブック）」 静岡県自然保護課 小松鷹介氏 15:35～16:25 ●「環境影響評価法を巡る最近の動向 （太陽光発電の対象事業への追加等）」 環境省 大臣官房環境影響評価課 課長補佐 森田紗世氏 16:25～16:30 閉会挨拶

参加費
無料
(定員90名)

お問い合わせ ● 静岡県環境保全協会 静岡県東区東町1番18号 静岡中央ビル3F
TEL: 054-254-9603 (受付 9時～17時)
E-mail: saep-mto@topaz.ocn.ne.jp
● 静岡県環境アセスメント協会 静岡県東区東町14-13
TEL: 054-255-3655 (9時～18時)
E-mail: sea201306@habi.ne.jp

定員90名になり次第、締切ります。
(申し込み締切日 11月27日)



環境保全セミナー参加者の感想

- 公害関係の知識の脆弱化が社内でも問題視されつつあるところであったため、昔からの知見を後世に引き継げるよう、検討していきたい。
- 浜松市沿岸地域防潮堤整備事業における環境への取り組みについて、整備するための努力、環境、地域への配慮がとても伝わった。また、砂丘を守る高校生との取り組みに、企業として何ができるか考えさせられた。
- 静岡県民として、静岡県版レッドデータブック、生物多様性地域戦略について知ってみようと思った。
- 太陽光発電による大規模な森林伐採による問題等、アセス法の最近の動向がわかり、参考になった。
- 最近、SDGs への対応として各社努力しているところだが、このようなセミナーを今後も多く開催して、行政、企業、地域が一体となって環境保全に取り組むきっかけになれば良いと思った。

静岡県環境アセスメント協会の活動の歴史

静岡県環境アセスメント協会は、1986年8月7日に、静岡県内の建設コンサルタントや環境測定・分析企業が集まって、健全で豊かな環境の維持と、環境アセスメント制度を普及することを目的として設立されました。それから34年を経て、静岡県内全域から合計6つの企業が参加・連携し、各地域の活性化につながる環境保全活動を行っています。

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
1986	・環境影響評価実施要綱について（環境庁企画調整局長通知）	・静岡県環境アセスメント協会設立
1987		・焼却場・し尿場環境影響評価技術指針案作成
1988		・静岡県環境影響評価技術指針案の作成
1991		・環境影響評価技術マニュアルの作成
1992	・静岡県環境影響評価要綱施行 ・絶滅のおそれのある野生動物の種の保全に関する法律制定	・静岡県環境影響評価要綱説明会開催
1993		・リモートセンシングセミナー開催
1994	・環境影響評価制度総合研究会発足	・環境創造シンポジウム開催
1995		・静岡県環境影響評価要綱技術説明会開催 ・静岡県環境影響評価技術指針の手引き作成
1996	・今後の環境影響評価制度の在り方について ・静岡県環境基本条例制定	・静岡県環境基本計画「中間検討案」への意見書提出
1997	・環境影響評価法公布	・環境影響評価法に関するシンポジウム開催
1998	・環境影響評価法施行規則公布 ・環境影響評価法に基づく主務省令公布	・静岡県における環境影響評価制度の在り方についての意見書提出
1999	・環境影響評価法全面施行 ・静岡県環境影響評価条例施行	・静岡県環境影響評価条例セミナー開催 ・静岡県環境影響評価技術指針説明会開催
2002		・環境フェア出展
2003	・静岡県版レッドリストの公表	・静岡県版レッドリスト説明会開催
2004	・まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック発行 ・静岡県版レッドリストの更新	・静岡県版レッドデータブック説明会開催 ・環境・森林フェア出展
2006		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2007		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2008		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2009		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2010	・静岡県希少野生動植物保護条例の制定	・環境・森林フェア出展
2011	・環境影響評価法改正公布 ・静岡県希少野生動植物保護条例の施行	・環境保全セミナー開催
2012		・環境保全セミナー開催
2013	・改正環境影響評価法完全施行	・環境保全セミナー開催
2014		・麻機遊水地フェスタ（環境学習会開催） ・環境保全セミナー開催
2015		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・環境保全セミナー開催
2016	・第3次静岡県環境基本計画の見直し ・ふじのくに地球環境史ミュージアム開館	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・30周年記念事業（式典、講演会） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2017	・静岡県版レッドリスト全面改訂	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2018		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2019	・環境影響評価法施行令の一部改正の公布 ・静岡県版レッドデータブック【動物編】公表	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・環境保全セミナー開催
2020	・静岡県版レッドデータブック【植物編】公表	

(株)環境アセスメントセンターの業務紹介

生物多様性保全のための緑化事例

株式会社 環境アセスメントセンター
栗原淳、馬場美也子、今井久子

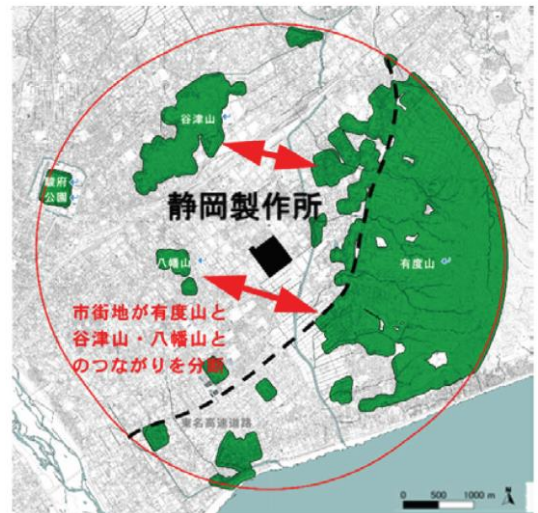
生物多様性と事業所の緑地

私たちの暮らしは、生物多様性から得られる様々な恵みによって支えられており、静岡県でも「ふじのくに生物多様性地域戦略」において、「生物多様性の大切さを理解し、力を合わせて、生物多様性にめぐまれた理想郷“ふじのくに”に生きる」を基本目標として掲げています。生物多様性保全への取り組みの一つとして、県内の多くの事業所で進められている緑地の整備は、様々な生物のすみかを提供し、地域の生物多様性の保全に貢献していると考えられます。ここでは、生物多様性の保全のための緑地整備の事例として、三菱電機静岡製作所での取り組みをご紹介します。

「よりみち緑地」とは？

三菱電機グループは 2010 年に「生物多様性行動指針」を制定し、この行動指針に則り、三菱電機静岡製作所では、2016 年から事業所内の一部の緑地を「よりみち緑地」として整備しました。

事業所周辺には有度山、谷津山、八幡山、駿府公園等の緑地がありますが、それらを結ぶ「飛び石」的な役割をもつ緑地は多くはありません。緑地のネットワーク化は地域の生物多様性を保全する上で重要なシステムであり、静岡製作所はこの役割を担うことのできる重要な場所にありました。緑地の質を向上させ、多くの生物が“よりみち”できる機能をもった緑地を整備することは、地域の生物多様性を保全する上で重要です。「生きものが餌を食べ、休息する緑地」「鳥やチョウが舞い、周辺の景観とも調和した緑地」を目指す「よりみち緑地」は、緑地を整備する際の目標設定の一つの考え方といえます。



静岡製作所周辺の緑のネットワーク

導入する植物

静岡製作所の整備地に導入する植物は、以下の①から⑤までの条件を満たすことを基本としました。特に、今回の整備では、①②の条件を満たす植物として、周辺地域の開発工事で失われる植物を活用しました。

- ①地域生態系を攪乱する恐れのない植物
- ②外来植物・園芸植物以外の植物
- ③冬季の緑量確保のため、常緑性低木・草本の併用
- ④来訪者への視覚的配慮(開花時期等)
- ⑤多様な生物がよりみちできる植物



ヤマハギ



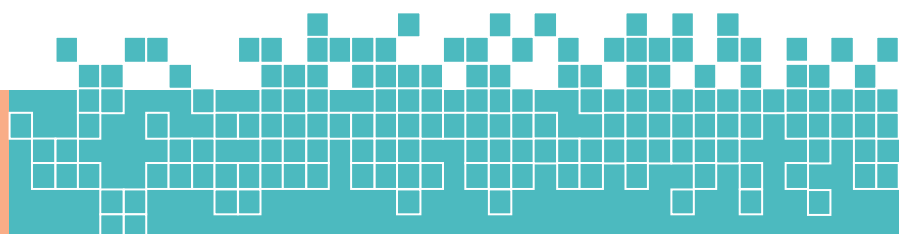
ノコンギク



ソヨゴ



ツリガネニンジン



生き物が集う緑地へ変化

整備前の緑地は、生物の利用環境という点では、植生的にも空間的に多様性に乏しい状態でした。この状況を改善した結果、計 340 種類もの植物が生育する緑地になりました（導入植物を含む、2017 年～2019 年調査）。これは、整備前（2016 年）に事業所内の全ての緑地で確認した植物の約 3 倍に相当します。

整備後の緑地では、導入植物のムラサキシキブやセンリョウだけでなく、その他の多くの植物が開花・結実するようになりました。また、メジロ、ジョウビタキ、ツグミ、シメ等の鳥類がこれらの果実を冬季の餌として利用し、ヤマトシジミ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン等チョウ類が吸蜜を目的に整備緑地で咲いている花に飛来するようになりました。

今回整備した緑地は小規模ですが、事業所内の緑地規模に適した整備目標をたて、その目標を達成するために必要な植物を導入することで、整備後の緑地は多くの生物が“よりみち”できる環境に整いつつあります。一方、整備後、緑地の質を低下させる多くの外来植物が侵入しました。この緑地では、「防除」（生育量のコントロール）という視点での対策（除草・抜き取り等）を継続することで、一定の効果が得られています。整備した緑地の特性（目標）を踏まえ、どのような視点で外来植物への対策を進めるのかが一つのポイントになります。



ジョウビタキ



オミナエシに訪花する
ヤマトシジミ

【緑地1】



整備前



整備後

【緑地2】



整備前



整備後（約 3 ヶ月経過）



整備後（約 1 年 3 ヶ月経過）

生物多様性の大切さを伝える緑地をめざして

多くの生物がよりみちする「よりみち緑地」の一部は、静岡製作所の休憩スペース、憩いの場所としても活用され始めています。また、子供から大人までを対象とした観察会を開催し、「生物多様性の大切さ」を伝え、理解するための活動が始められています。静岡製作所に生まれた小さな「よりみち緑地」は、生物多様性にめぐまれた理想郷“ふじのくに”に向けて、大きな力を秘めた場所となりつつあります。



よりみち緑地の観察会

静岡コンサルタント(株)の CSR

弊社では、中学生・高校生の職場体験の受け入れや地域の清掃活動、献血、地域イベントへの参加等を通じて、地域貢献のために下記の取り組みを実施しています。

中学生・高校生の職場体験

毎年近隣中学校・4校、高校・1校を受け入れています。地図情報システムを使って自宅までの地図作成や CAD や 3D ソフトを使用しての構造物設計等、「地図に残る仕事」の体験をしてもらいます。また、測量の現場体験をして頂くこともあります。社会人としてのマナーやあいさつの仕方も学んでもらいます。



CAD を使った設計体験



測量業務体験

地域清掃活動



楽寿園清掃

市町や環境保全推進協議会等が主催する地域清掃活動へ積極的に参加しています。



献血活動



弊社駐車場で行います。

春と秋の年 2 回、献血車がきて献血活動を実施しています。毎回、若手からベテランまで多くの社員が参加しています。



地域イベント他応援活動



2月に函南町で行われる駅伝大会へ幅広い年代の社員がメンバーとして参加しています。

新入社員の走者からアンカーの社長まで一丸となって襷を繋いでいます。



災害があった際に、受付カウンターに義援金ボックスを設置し、社員からの支援を募っています。

- ・九州北部豪雨
- ・大阪北部地震災害
- ・台風19号災害
- ・7月豪雨災害 等

この活動は、日本赤十字社を通じて支援しています。

2019.7.6 第2回
みんな違ってみんなイイ
joy♡joy♡joy
ねがいきらめく天の川



地域イベントや障害者イベントへ寄付や協賛を行っています。

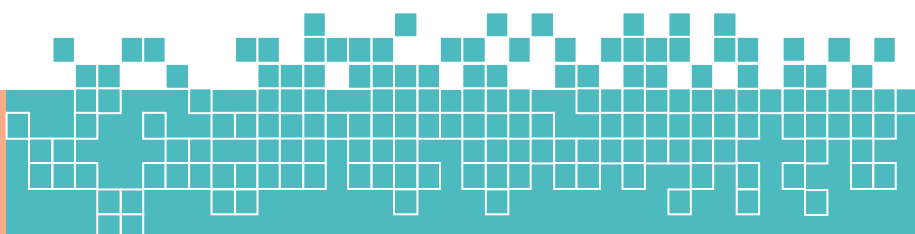
- ・障害者と健常者の手をつなぐ会
- ・静岡県障害者スポーツ協会
- ・三島陸上クロスカントリーリレー大会
- ・富士山金太郎夏祭り
- ・三嶋大祭り
- ・Mishima Contemporary Music Days 他



ロビーにAEDを設置。どなたでもご使用できます。三島市「あんしん AED ステーション」認定も取得。



業務上使用することのなくなったデスクやトレイ等備品を地元の小中学校へ寄贈。



(株)東日の業務紹介とCSR



50年の実績から夢ある100年へ

総合建設コンサルタント

株式会社 東 日

弊社では環境調査の一環として、希少な動物や植物等の調査のほか、施設整備に伴い影響する既存樹木の移植等、保全対策の可能性を探る調査を行っています。

ここでは弊社が実施している環境調査の一例をご紹介しますとともに、地域貢献のための取り組みを紹介します。

既存樹木の保全対策調査

津波対策として行われている牛臥海岸防潮堤工事に伴い、隣接する沼津御用邸記念公園（国の名勝に指定されている「旧沼津御用邸苑地」を含む）にて、海岸沿いの松林が工事に影響する可能性があるため、移植または残置が可能か判断し、その対策を検討するための調査を行いました。

調査は、生育状況を見る樹木診断調査を実施するとともに、大径木は根の張り方等を見る根茎調査や土壌調査を行い、その可能性を図るための調査を行いました。



海岸沿いの松林



根茎調査



大径木の根の状況

CSR 活動

奥野ダム一日ダム教室

通年行われている静岡県、伊東市主催の「奥野ダム一日ダム教室」に静岡県測量設計業協会 東部支部会員として参加し、お年寄りから子供まで実際の測量機器を使用した測量を体験して頂く事で身近に測量を感じてもらえるような取り組みをしています。



測量機器観測体験



清掃活動

沼津市主催の「フェスタ・ゴミ・IN千本浜」への参加の他、道路、公園および緑地等の公共施設においてごみ拾いや花壇の手入れ・除草等の環境美化活動に取り組む「ぬまづまちピカ応援隊」へ参加し年2回沼津市大岡地内を流れる沼津市管理河川の清掃活動を行う等、身近な環境保全活動に社員一同積極的に取り組んでいます。

狩野川連合総合水防演習・広域連携防災演習

当社では災害時、地域コンサルタントとしてどのような形で地域に貢献できるのか考え、日々技術向上を目指し迅速かつ安全・安心な災害対応ができるよう取り組んでいます。そうした中、平成 29 年 5 月、国土交通省中部地方整備局・静岡県が中心となり、過去最大規模の水防演習・広域連携防災訓練に参加させて頂きました。そこではドローンによる被災状況調査並びにこの調査画像をメイン会場へ送信する役割をさせて頂いたことは大規模水害時の防災体制への取り組みとして有意義な経験となりました。



ドローンによる被災状況調査訓練

義援金活動



義援金ボックス

災害があった際、社内に義援金ボックスを設け社員からの支援を募り公益法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団を介し日本赤十字静岡県支部に寄託しています。

- ・令和 2 年 7 月豪雨
- ・令和元年東日本台風
- ・平成 30 年 7 月豪雨 等

献血活動

健康であることへの感謝の気持ちと地域社会への恩返し of の気持ちを込めて当社創業 50 周年時の平成 26 年より継続して行っています。



献血協力（本社駐車場にて）

地域イベント活動



富士マラソンフェスタ

富士マラソンフェスタ in FUJI SPEEDWAY は、小山町・NPO法人小山町体育協会・富士マラソンフェスタ実行委員会が主催するイベントです。モータースポーツの聖地「富士スピードウェイ」で雪化粧をした雄大な富士山を眺めながら走り、個人戦・団体戦でタイムを競いました。

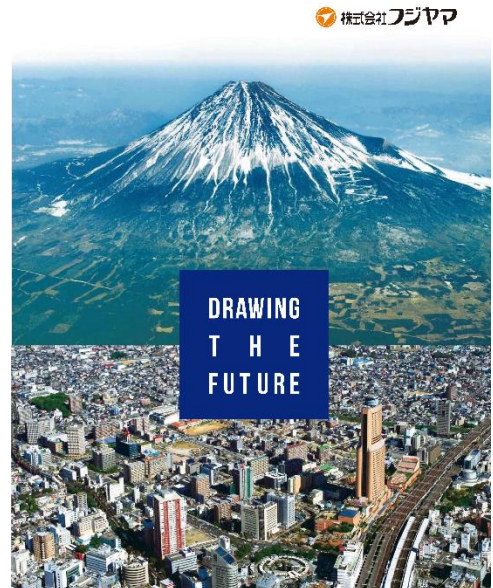
(株)フジヤマの業務紹介

弊社では、環境影響評価法で定められた環境調査のほかにも、条例に基づく調査や、企業や自治体が自主的に行う環境アセスメントも行っています。また、事業が環境に及ぼす影響を調査するだけでなく、影響がある場合の解決方法を提案し、事業と環境保全が両立できるお手伝いをしています。

ここでは、フジヤマが実施している環境関連の仕事について、その一部をご紹介します。

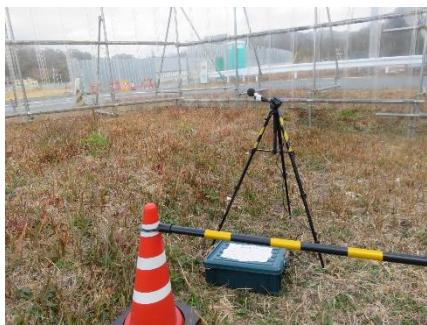
環境調査を実施する場所

事業が計画されている場所ならば、国内のどんなところでも調査を行います。静岡県内では、南アルプスのような高山帯から、都市部近郊、河川湖沼や沿岸域まで、様々な環境があります。



なにを調べるの？

調査する項目は、静岡県環境影響評価技術指針に基づき、開発の種類と計画地の地域特性を考慮して選定します。大気水質や騒音振動、動植物や景観等の調査項目が一般的ですが、場合によっては光害や土壌、文化財等の調査項目が必要になることもあります。



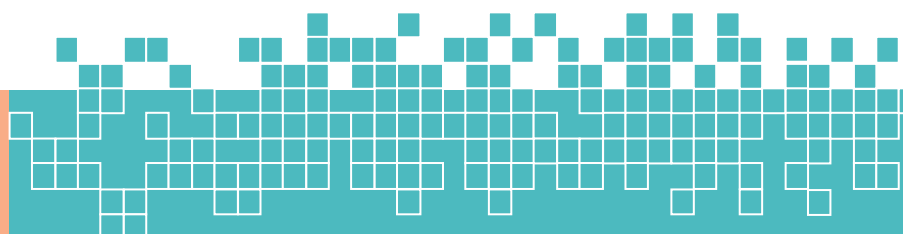
騒音調査は、造成工事に関わるもの、施設供用後の騒音予測、地域住民に対する対策検討まで幅広い目的がある調査です。



光害は地域住民への影響だけでなく、ウミガメやホタル等の生物にも大きな影響を及ぼすものです。最近では太陽光パネルの反射光が問題になることがあります。



土壌汚染の影響等も調査します。植物の生育基盤として土壌調査を行うこともありますが、その場合は富栄養化の程度等が把握できるような分析項目を選定します。



猛禽類の調査

猛禽類は、生態系の上位種やアンブレラ種として位置づけられ、環境保護の指標生物として取り扱われることが多い生物です。そのため、長期間の調査観察に基づく行動解析や利用域を把握することにより事業の影響を評価します。



哺乳類の調査



赤外線センサーカメラ

捕獲確認することが難しい哺乳類は、足跡や食痕等のフィールドサインを調べたり、トラップ装置や赤外線センサーカメラを仕掛けたりします。哺乳類の中でも特にコウモリ類は希少性の高い種が多く、また、事業の影響を受けやすい種です。



特に保全対策が必要となる生物

レッドデータブックで絶滅の危険度が高いカテゴリーに含まれる生物のなかには「天然記念物」や「指定希少野生動植物」も含まれています。これらは環境影響評価法だけでなく、別の法律や条例でも生息環境が守られています。これらの生物が計画地にいる可能性がある場合は、より詳細で重点的な調査による影響予測が求められます。

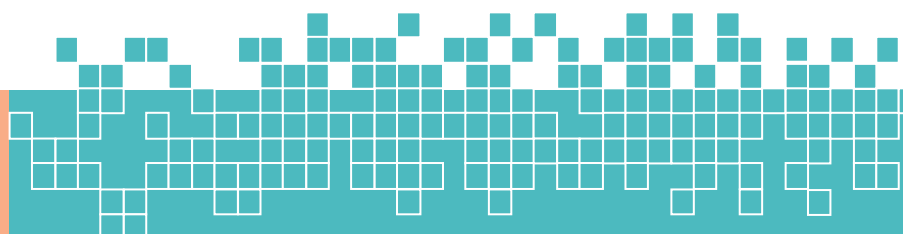


静岡県指定希少野生動植物のヤリタナゴ



自然公園で採取等が規制されるキンラン

……これらは「環境調査」といわれる調査の、ほんの一部です。
また次の機会にいろいろな調査をご紹介しますと思います。



静岡県環境アセスメント協会 会員一覧

株式会社 環境アセスメントセンター

〒420-0047 静岡市葵区清閑町 13 番 12 号 Tel054-255-3650 Fax054-253-7891
環境アセスメント／動植物・生態系調査／環境・防災地質調査／生活環境調査／環境基本計画
地球温暖化対策実行計画／生物多様性地域戦略／環境教育／適応計画

株式会社 サイエンス

〒424-0812 静岡市清水区小芝町 4-13 Tel054-361-0200 Fax054-361-0202
生活環境調査／自然環境調査／影響予測・総合評価／環境計量証明（大気・水質・土壌・悪臭・騒音・振動）
作業環境測定

一般社団法人 静岡県産業環境センター

〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目 4 番 6 号 Tel053-428-3430 Fax053-428-3447
環境調査／環境計量／影響予測／総合評価環境コンサルティング／環境管理計画／作業環境調査
エネルギー資源の有効活用

静岡コンサルタント 株式会社

〒411-0804 三島市多呂 128 番地 Tel055-977-8080 Fax055-977-8600
建設コンサルタント／環境調査・影響予測・総合評価・測量・地質調査・補償コンサルタント／民間開発
都市計画・区画整理・交通計画／道路・橋梁・上下水道他土木設計／施工管理／農村整備／公園整備

株式会社 東日

〒410-0022 沼津市大岡 2240-16 Tel055-921-8053 Fax055-924-8122
環境調査／影響予測・総合評価／道路設計／橋梁設計／治水対策／土砂災害対策／上下水道
行政支援／公園・面整備／地質／測量／補償／地理情報システム／民間開発

株式会社 フジヤマ

〒430-0946 浜松市中区元城町 216-19 Tel053-454-5892 Fax053-455-4619
環境アセスメント／環境調査／保全対策／民間事業／史跡整備・文化財活用／農業土木
航空写真測量／地域計画／地形・地質調査／建設コンサルティング／設計・施工監理

発行 2020 年 11 月

静岡県環境アセスメント協会
TEL054-255-3650

〒424-0819 静岡市葵区清閑町 13-12
HP:<http://www.habi.ne.jp/sea>